

「こうや花鉄道」プロジェクト

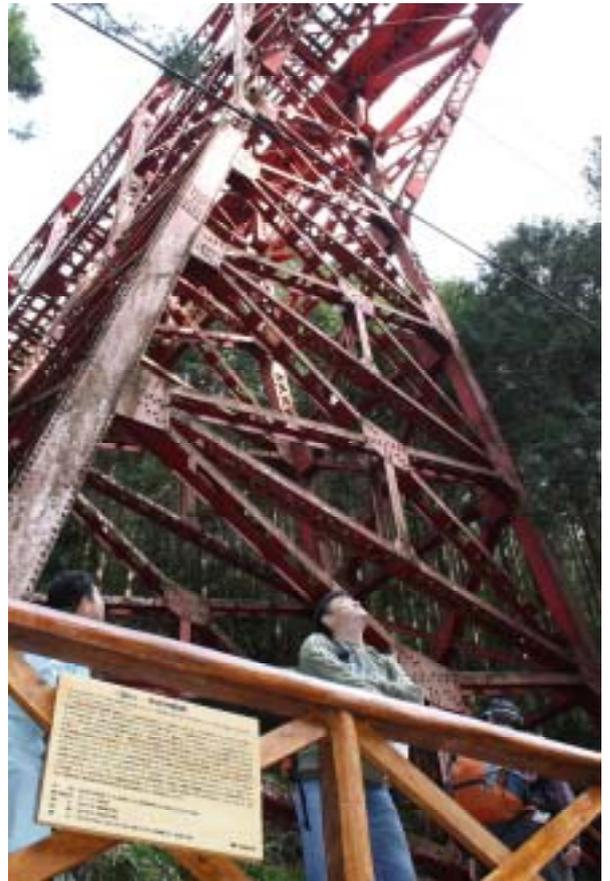
「中古沢橋梁展望デッキ」を設置しました！

歴史や迫力ある橋梁を仰ぎ見てください！

南海電鉄(社長: 亘 信二)では、2月25日(木)に、高野線・下古沢～上古沢駅間にある中古沢橋梁の下に、同橋梁の解説板付き「中古沢橋梁展望デッキ」を設置しました。

中古沢橋梁は、橋脚がやぐらのように鉄骨を組み上げてできた「トレスル橋」であり、全国で11橋しか現存していません(土木学会「歴史的鋼橋集覧」調べ)。さらに橋脚と橋桁は別形式で作ることが多いなか、同橋梁はともに鉄骨を組み上げて一体になった珍しい構造です。

当社は、「こうや花鉄道」プロジェクトとして橋本～高野山間の沿線の魅力向上を進めており、この珍しい橋梁を観光資源として活用するため、同デッキを設置。今後、同橋梁の歴史や壮大な森林の中を列車が通過する様子を仰ぎ見ることができる同デッキを広くPRしていくことで、旅客誘致につなげていきます。



中古沢橋梁展望デッキから橋梁を仰ぎ見るハイキングの皆さん

【 駅名表示板をリニューアルしています 】



現在、橋本～極楽橋間の10駅で、4カ国語表記による駅名や駅の標高などを記載した駅名表示板へのリニューアルを進めており、現在8駅のリニューアルが完成しました。

お客さまに高野山旅行への特別感を感じていただくため、新しい駅名表示板の立柱の色は「こうや花鉄道」プロジェクトのシンボルカラーである緑・赤・ゴールドの3種類を使用しています。

リニューアルした駅名表示板(上古沢駅)

## 1. 「中古沢橋梁展望デッキ」について

- (1) 完成日  
平成22年2月25日(木)
- (2) 設置場所  
中古沢橋梁の難波方面の橋脚付近  
所在地：和歌山県伊都郡九度山町  
下古沢～上古沢駅間  
下古沢駅から徒歩約20分  
上古沢駅から徒歩約20分



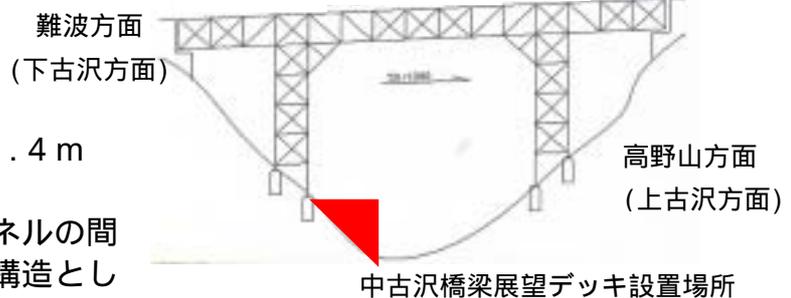
- (3) 大きさ  
長さ576cm×奥行150cm
- (4) 解説板について  
中古沢橋梁の特色や建設の経緯、大きさなどを記載しています。

### 参 考 中古沢橋梁について

- (1) 竣 工：昭和2年
- (2) 開 通：昭和3年
- (3) 大きさ：全長67.6m、高さ33.4m
- (4) その他：

中古沢橋梁は、トンネルとトンネルの間の深い複雑な谷の地形に合わせた構造として「トレスル橋」を採用しました。

全国で「トレスル橋」は11橋しか現存しておらず（土木学会「歴史的鋼橋集覧」調べ）さらに橋脚と橋桁を別形式で作ることが多いなかで、同橋梁はともに鉄骨を組み上げて一体構造となった珍しい形式です。



## 2. 駅名表示板のリニューアルについて



下古沢駅の駅名表示板

- (1) リニューアルした駅  
九度山駅、紀伊清水、学文路、下古沢、  
上古沢（上りホーム）、紀伊細川、紀伊神谷、  
極楽橋（4番ホーム）

- (2) 概 要  
緑と白を基調に、海外のお客さまにも対応するため、日本語・英語・韓国語・中国語の4カ国語表記による駅名や「こうや花鉄道」のロゴマーク、駅の標高、橋本～高野山駅の各駅名と勾配をデザインしています。

また、立柱には「こうや花鉄道」プロジェクトのシンボルカラーである緑・赤・ゴールドの3種類を使用しています。

以 上



